

普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課

鹿屋市打馬2丁目16-6

TEL：0994-52-2142

FAX：0994-52-2147

ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>



肝属地区「地域農業を語る会」が開催されました

令和7年7月24日、鹿児島県農業経営者クラブ肝属支部及び鹿児島県農業経営者クラブの主催で、令和元年以来6年ぶりに、肝属地区「地域農業を語る会」が開催されました。

「地域農業を語る会」とは、クラブ員相互の資質向上や地域農業の発展を目的に、農業経営者クラブ各支部ごとに開催される自主的な研修会で、県農政部長も参加されます。

同会の内容と農業経営者クラブについてご紹介します。

<肝属地区「地域農業を語る会」の概要>

●参加者：59人

●現地研修：富田バラ園（南大隅町）、浜田農園（錦江町）

●室内研修：

【事例発表】「なにをしたいか考える」

（株）吉ヶ崎農園 吉ヶ崎大作氏（東串良町）

【ディスカッション】「肝属農業の未来を語ろう！」

コーディネーター：宮下祐一氏

パネリスト：芝原清彦氏、榎原秀志氏、

吉ヶ崎大作氏、濱田隆介氏、鳥越秀一氏

○自身や地域の農業上の課題をそれぞれ1つあげてもらい、課題への向き合い方を意見交換しました。

人手不足、担い手不足、新規就農者の研修、魅力的な農業経営、稼ぐ力などについて様々な意見が出され、とても有意義な研修となりました。

●情報交換会：

研修会終了後、浜田農園さんの農園レストランで情報交換会を行いました。浜田農園さんのワインも提供され、みんなで舌鼓を打ちながらそれぞれの熱い想いを語り合い、大いに盛り上がりました。



現地研修の様子(富田バラ園)



室内研修の様子

<農業経営者クラブとは？>

結成50年を超える県内約300人の会員からなる農業者の組織です。

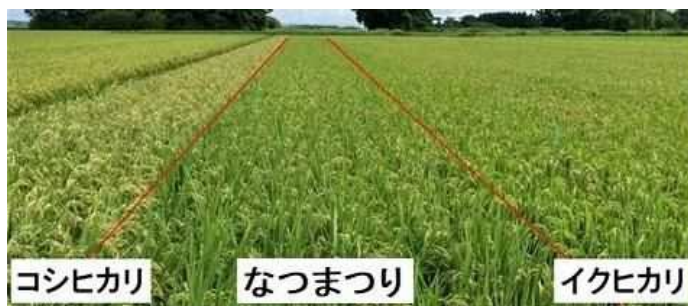
部門別の研修会や県知事を招いての中央農業情報懇談会、各々の経営内容に応じた経営・技術研修や県農政関係者等との意見交換を行っています。現在、肝属支部は会員17人で活動しています。新規会員も随時募集中です。

知って得する！技術情報！！

<作物編 早期水稲新品種「なつまつり（西南177号）」>

高温登熟性に優れ、いもち病抵抗性を備えた品種。「イクヒカリ」に比べて、玄米外観品質が優れ、収量性が同程度の多収品種で、所得の向上が期待できます。

項目	「なつまつり」の特性
熟期	早期水稲の <u>中生熟期</u>
出穂期 収穫期	「コシヒカリ」より4～5日遅く、 「イクヒカリ」と同程度
収量	「コシヒカリ」より多収で、 「イクヒカリ」と同程度
高温登熟性	「コシヒカリ」及び「イクヒカリ」より優れ、 <u>玄米外観品質が良い</u>
いもち病抵抗性	いもち病ほ場抵抗性遺伝子を持ち、「コシヒカリ」より強い
食味	「コシヒカリ」並みの <u>良食味</u>
稈長	「コシヒカリ」より短く、 「イクヒカリ」と同程度
倒伏耐性	「イクヒカリ」と同程度



【注意点】

- ・耐冷性は「イクヒカリ」と同じ”やや弱”なので、極端な早植えは避ける
- ・耐倒伏性は”やや強”であるが、極端な多肥栽培は避ける

知って得する！技術情報！！

<畜産編 奨励品種を使って良質粗飼料の増産に努めましょう>

奨励品種とは、都道府県が、当該地域で広く栽培されている飼料作物の種類、品種又は自然条件及び経営条件を考慮し、今後普及を図る必要のある種類、品種の中から選定したものです。

近年、地球温暖化による異常気象により、飼料作物の作付け、収穫時期が計画的に進まない状況にあります。奨励品種を用いて、良質粗飼料増産に努めましょう。

鹿児島県奨励品種（一部抜粋）

区分	種類名	品種名	早晩生
春夏作	ソルガム	SX11（スダックス）	早生
		SG-1A(甘味ソルゴー)	中晩生
		JG-S9（ハニーソルゴー）	早生
		元気ソルゴー（KCS108）	早生
	スーダングラス	HSK-I（ヘイスーダン）	極早生
	ローズグラス	カタンボラ	中生
	ギニアグラス	うーまく	極晩生
秋冬作	エンバク	スーパーハヤテ隼	極早生
		スナイパー	極早生
		たちいぶき	極早生

区分	種類名	品種名	早晩生
秋冬作	イタリアンライグラス	Kyushu 1（いもち病抵抗性品種）	極早生
		タチワセ	早生
		ワセユタカ	早生
		ワセアオバ	早生
		タチサカエ	中生
		マンモスB	中晩生
		ナガハヒカリ	中晩生
		エース	晩生
		ビッグワン	晩生
		KAIR-12TE	晩生

知って得する！技術情報！！

<野菜編 さやいんげんの品種について>

令和7年度に主要品種の「バスクロップキセラ（以下：キセラ）」の種子販売が終了します。そこで、春と秋の露地作型について品種試験を行い、収量性や莢質等の調査から、肝属地域における有望な品種を検討しましたので、紹介します。

表 試験した作型

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
春露地	○ 播種	○	○ 収穫									
秋露地							○ 播種	○	○ 収穫			



【有望品種について】

春の露地作型で9品種、秋の露地作型で4品種を検討しました。生育や収量、莢質等を調査したところ、以下の2品種で有望な結果が得られました。

「キセラネオ」（雪印種苗（株））

- ・「キセラ」に比べ、収穫始めが数日遅く、収量は並～やや少ない
- ・莢質は「キセラ」と同等で、関西方面での需要が特に高い
- ・食味は「キセラ」と同等

「サクサク王子ネオ」（（株）サカタのタネ）

- ・「キセラ」に比べ、収穫始めが数日早く、収量が多い
- ・莢形状が「キセラ」と異なり、丸平英かつ長英のため、栽培前に出荷先との事前協議が必要
- ・食味は「キセラ」に比べ、優れる
- ・莢が柔らかいため、風当たりの強いほ場では、防風対策が必要
- ・莢の肥大がやや早い、収穫遅れに注意



表 品種の特徴

品 種	生育		収量 (キセラ比)		莢について			
	草丈	分枝数	春	秋	形状	肥大	莢長	食味
キセラ（慣行品種）	—	—	100%	100%	丸英	—	—	—
キセラネオ	やや短	並	87%	95%	丸英	並	やや短	並
サクサク王子ネオ	並	多	127%	131%	丸平英	やや早い	長い	優れる

注1)草丈、分枝数、肥大、莢長、食味は「キセラ」と比較した評価

2)両品種とも「キセラ」に比べて、くびれ症状を呈する異常英の発生が見られる場合があります



新品種を栽培する際は、事前に出荷先との調整・協議が必要です

知って得する！技術情報！！

<花き編 キクのセンチュウ防除について>

キクの連作ほ場では、線虫の加害により、草丈伸長の不良や生育不揃い、下葉の黄化や日中のしおれ、根の褐変などが発生することがあります。経営に大きな影響を及ぼす前に早めの対策が重要です。

【防除のポイント】

1 土壌くん蒸剤による防除

- 線虫防除の効果はD-D剤の効果が最も高い。
- 薬剤処理前に前作の古株はできるだけ除去し、耕起、整地はていねいに行なう。
- 薬剤処理時の土壌水分は、軽く握って開くと壊れずに割れ目が出来る程度が最適です。

2 接触型剤による防除

- 線虫密度が低い場合は、植付け前の接触型剤により被害を抑制することが可能です。

3 その他

- 夏期に約1か月程度、ほ場の消毒期間が確保できれば、石灰窒素などを活用した太陽熱消毒や湛水が効果的です。
- 発生ほ場から農機具などによるセンチュウの持ち込みを防ぐことも重要です。

表1 キクのネグサレセンチュウに登録のある土壌消毒剤

農薬名	使用量
D-D、テロンなど	15～40L/10a
ドジョウビクリン、クロルビクリンなど	20～30L/10a
キルパー	40～60L/10a
ガースタート微粒剤、ハスミット微粒剤	20～30kg/10a
ダブルストッパー	30L/10a
ソイレーン	20～30L/10a

表2 キクのネグサレセンチュウに登録のある殺接触剤

農薬名	使用量
ネマトリンエース粒剤	20～25kg/10a
ラクビ-MC粒剤	20kg/10a
ネマキック粒剤	20kg/10a
ビームラム粒剤、ネマクリン粒剤	20kg/10a

<第12回全国モーモーマーちゃんの集い in かごしまが開催されました>

同集いは、全国の畜産業を担う女性が、日々の取組等の情報交換や将来の畜産業への想いを語り合う場です。2年おきで開催されており、今回、初めて本県で開催されました。

管内生産者を委員長とする県実行委員会が中心となって準備が進められ、6月19日、会場となった鹿屋市のホテルには、全国から270人が集い、活気にあふれました。

集いでは体験発表や基調講演、1分間スピーチなど、続く情報交換会ではカンパチや牛肉など地元産食材の振る舞いや参加者による作業着ファッションショーなどがあり、遅くまで賑わいました。翌20日は、肝属中央家畜市場でセリ市視察もありました。

次回（2年後）は、北海道で開催される予定です。



（訂正とお詫び）

第55号（3）〈令和6年度新規認定者の紹介〉【指導農業士】の記事で、池之迫博様の市町村の記載に誤りがございましたので訂正し、お詫びいたします。

誤：東串良町 → 正：南大隅町